

平成18年度 第1回 北九州市地方独立行政法人評価委員会

(議事要旨)

1 日時：平成18年4月26日(水) 15:00～16:15

2 場所：市役所庁舎 5階 特別会議室A

3 出席者：

委員(五十音順)

・石田委員長、片山委員、城水委員、中島委員、福地委員

市側

<総務市民局>

・梅本経営企画室長、中西経営企画室主幹 他

<公立大学法人北九州市立大学事務局>

・丸山事務局次長、江島経営企画課長 他

4 議題

(1) 北九州市立大学における自己点検・自己評価について(説明)

(2) 当評価委員会の評価方法等について(審議)

(3) その他

5 議事（要旨）

<p>石田委員長</p>	<p>(1) 北九州市立大学における自己点検・自己評価について（説明）</p> <p>いよいよ評価をする段階に入ってまいりましたが、その前に準備しなくてはならないことがいくつかありますので、本日はそのようなことを踏まえてご審議いただきたいと思います。まずは北九州市立大学の自己点検・自己評価と言うことでございまして、確か前々回でしたか、大学の方から少し自己点検・自己評価について説明を聞きましたが、その時の内容も踏まえてご説明の方をお願いしたいと思います。</p>
<p>大 学</p>	<p>《北九州市立大学より資料2についての説明》</p>
<p>大 学</p>	<p>《北九州市立大学より資料1についての説明》</p>
<p>大 学</p>	<p>《北九州市立大学より資料3についての説明》</p>
<p>委 員 長</p>	<p>ただいま大学側から説明がありました。前々回の時にも多少質問があったのですが、それについての回答、あるいは委員の皆様の質問等があればお願いいたします。</p>
<p>大 学</p>	<p>前回のいくつかの質問に関して、今、回答できる範囲で回答したいと思います。市の評価委員会向けの実績報告書、地方独立行政法人法で定められている事業報告書、大学側が作成する自己点検評価報告書が同一の資料かどうなのかについての質問があったかと思うのですが、基本的にはすべて違います。それと法律に定められております事業報告書は当該年度にどのようなことを実施したのかを財務諸表等と同時に作成して、文章の形式にて作成することになっております。これは評価委員会に報告するものではなく、法人が設置者側に財務諸表等といっしょに提出する書類となっております。</p> <p>また、採点基準についてですが、基本的には国立大学に準じた形で4段階と言うふうに思っております。この4段階についてどのような考え方で整理するのかは、国立大学の場合、実施していない、十分に実施できていない、概ね順調に実施している、計画を上回って実施していると言うような4段階です。最後は国立大に準じようと言うふうに考えているのですが、詳細は今検討中であります。</p> <p>それと、次年度の達成目標あるいは目標の数値化というお話がありましたが、現在平成18年度の年度計画を作成している所ですので、またの機会に</p>

	<p>平成18年度計画の説明を改めていたしたいと思っております。</p> <p>最後に大学独自の評価方法があるのか、あるいは報告書以外の資料があるのかと言った質問があったと思うのですが、法人化初年度という事もあって、国立大学に準じた形でまずはやってみようと言う方向で進んでおります。いろいろな評価自体はあろうかと思いますが、1年、2年、3年としていく中で実績評価の手法については他大学の事を勉強しつつ工夫を加えていきたいと思っております。あと報告書等以外の資料については評価委員会の事務局等とも打ち合わせをさせていただいた上で、可能な限り検討させていただこうと思っております。</p>
委員長	委員の方、今までのところで質問等はありませんか。
委員	省エネとか環境保全に関しての目標のようなものが評価の項目に入っているのでしょうか。多くの大学や公的研究機関などでは様々な形で省エネ目標を掲げ、環境保全に関してISO取得するという積極的なところもありますが、そこまでいかなくとも理事長、学長宣言が見られるのですが、この点はいかがでしょうか。中期目標や自己点検とは別ものなのですが、大学独自で実施してもよいことだと思うのですが。
大学	大学の自己評価については、あくまでも年度計画の各項目にそってやっていくということで考えさせていただいております。具体的な環境への取り組みは、年度計画の中では位置づけられておりません。ただ、現実的には平成17、18年度で省エネ事業は実施しておりますので、大学全体では取り組んでおります。
委員	各年度ごとにそれを割り振って毎年達成されているかどうか、環境保全についてもステップが進行すれば年度計画に盛り込めるのではないかと思います。
大学	今後の課題として検討させていただきます。
委員長	場合によっては年度計画という形ではなくとも、大きな基本的な指針、目標の中にうたって、それにそって何か少しずつあるというような形がよろしいのではないのでしょうか。例えば、大学運営の理事長がリーダーシップの発揮なんて言うのは年度計画を追って順々に出ると言うものではなく、最初からきちっとあるべきものですし、大学としての基本的なあり方と言うものが

	<p>環境問題その他を踏まえておればよろしいのではないかと思います。要するに時代の要請、社会の要請でありますので。</p>
委員	<p>大学が重要視しているアジアとの交流に関係すること、具体的には留学生に関する対応についてですが、最近よく言われることで、留学生が卒業した後、短期間でも日本で就職の機会を与えられるよう配慮する等を年度計画におとし難いかもしれませんが目標として配慮されてはいかがでしょうか。</p>
大学	<p>滞在ビザとかの問題もありまして、内部的にはいろいろと検討しているのですが、具体的な対応まではまだです。</p>
委員長	<p>留学生の問題はかなり大きいですから、受入れ、奨学金、就職に至るまでのインターンシップの問題、そして就職となんらかの形で一連のものが必要になるだろうと思います。</p>
委員	<p>事業報告書を出すタイミングはどうなるのですか。</p>
大学	<p>評価委員会に実績報告書を提出するのと同じタイミングです。</p>
委員	<p>評価委員会の委員の中には外部の方もおられるのですか。</p>
大学	<p>全員大学の内部の方です。</p>
委員	<p>前回いただいた大学の評価委員会の名簿と本日いただいたメンバーが相当変わっておりますが。</p>
大学	<p>年度が変わって役職の方の異動がかなりあったためです。</p>
委員	<p>役職指定で選ばれているのですか。</p>
大学	<p>そうです。基本的に学部長、それぞれの重要な機関の長という形で選ばれております。</p>
委員	<p>今までの流れがあって、新しい方が加わるとその分遅れが出るのではないかとと思うのですが、その点は大丈夫ですか。</p>

大 学	それは大丈夫です。
委 員	利益相反のルール整備を考えられておりますが、大学自身の危機管理についてはどうしていますか。
大 学	危機管理については、学長、理事長、副学長、事務局長が入っている執行部会議で常に検討をしております。危機管理についてはマニュアル化という形でいろいろと準備をしております。
委 員 長	<p>(2) 当評価委員会の評価方法等について(審議)</p> <p>それでは、より具体的な評価委員会の評価方法等についてご審議いただければと思います。ただ今ご説明がありましたように、実績報告書の様式だとか評価スケジュールと言うようなものがございしますが、それを踏まえて具体的な評価指針、実施要領、実績報告書の様式についてご説明をお願いしたいと思います。</p>
事 務 局	《事務局より資料4、5、6、7についての説明》
委 員 長	<p>資料4の評価指針の中で、「教育研究等の質の向上」と、実は評価委員会ではちょっと難しいところがありましてどこまで踏み込めるのか、評価機関が別にありますので、それとの兼ね合いである程度どちらでも拝見させていただくということで、評価の目的に新たに加えていただいたのだと思います。実際の評価の段階でどこまで踏み込めるのかということは、またこの場でご審議したいと思っております。それと、なかなか大変だと思われるのは財務的な問題等がどこまで我々が把握できて、それが評価できるのかというところが多少あるかと思いますが、ご意見をたまわりたいと思います。</p> <p>資料5の年度評価実施要領は中期計画にそってある程度やると。しかもこれは大学の自己点検・自己評価が出てきたものに私どもが評価するということですから、(資料5の)評価委員会による評価の(5段階評価)そして全体評価はこのようなことでいけるのだらうと思います。</p> <p>資料7の評価スケジュールでは、6月から8月にかけて何回かタイトなスケジュールになり、また重要な事柄がいっぱい出てまいります。この通りだけで済むのであらうと思いますが、評価案を大学に示して意見をいただく、いわゆるフィードバックをしますので、多少時間がかかるのではと心配です。評価委員会の皆様も初めてで、短期間にたくさんやらなければならないため、</p>

	<p>ちょっと厳しい点もあろうかと思いますが、出来るだけ我々もやらなくてはと思っております。</p>
委員長	<p>委員の先生方遠慮なくお願いします。</p>
委員	<p>スケジュールは前回より、最後の方は少し前倒しになったでしょうか。</p>
事務局	<p>はい。事務局としてはできるだけ早い段階で実績報告書の案を大学側からいただくようにしておりますが、大学の手続き的な話もありますので、一応スケジュール上は提出が一番遅れた場合を想定しております。6月下旬から7月上旬の実績報告書説明を案だけでもよいので、できるだけ6月の前の方にいただけるように調整はしていきます。</p>
委員	<p>我々は資料6の様式のものの評価するということですね。</p>
事務局	<p>そうです。大学からはこの様式として出てまいります。</p>
委員	<p>前回の時に秋田の国際教養大学の評価書を見せていただきました。これは結構わかりやすいです。今回もこのような感じになるのでしょうか。</p>
事務局	<p>基本的には、ほぼこれを想定しております。</p>
委員	<p>大学の評価報告書の並びと中期計画の並びがずれていますので、中期計画の項目に大学の年度計画の番号がくるように逆に翻訳したものをいただきたい。番号だけではわかり難いので、表題のところだけでもいれていただきたい。全部埋めていったら、何も埋まらないところもでてくるかもしれません。</p>
事務局	<p>自己点検・評価報告書と評価委員会としての実績報告書でございますが、並び方は違いますが、大学との話では自己点検・評価報告書と項目を入れ替えて作成してくるということになっておりますので対応できるようにしております。委員会の方への報告書と言うのは中期計画の並びで提出されます。</p>
委員	<p>その表はそれで出てくると思うのですが、その中間で中期計画をベースに並べて、それに対して年度計画がどれに対応しているかと言うものが欲しいのです。</p>

事務局	要は体系図みたいなものですか。
委員	はい。見ていると番号がダブっているものがありますので。中期計画の順番に並んだものに年度計画を並び替えていただきたい、できればその時に表題だけでも結構ですので記載をお願いします。
委員	先ほど言われた環境への配慮は実績報告書に入るのですか、入らないのですか。
事務局	また確認して最終の回答を申し上げますが、私が聞いたところでは年度計画にはそれが入っておりません。自己点検・評価報告書あるいは実績報告書と言うのは基本的に年度計画のベースに上がってきますので、その項目は今度の評価の中には上がってこないと思います。
委員	ただ、環境へ取り組みが記載されずに公表されると批判にさらされるわけですね。特記するか、別枠で記載するか必要ではないでしょうか。
事務局	年度計画とは別に例えばエネルギーの話、環境保全の話についてどのような取り組みをしているのかと言うのを評価の対象にするか、またそれとは別でいいから資料として提出してくださいと言うのは可能かと思います。
委員	環境問題は地域社会の貢献と言う形もありますし、市立大学の性格的なところから環境問題を含め社会との共生や自然との共生とかは大きな項目にふれられてしかるべき問題なのだろうと思います。
委員	東京都の場合は3年間か5年間かで15%省エネを課せようと東京都全体に目標を掲げており、それには従わなくてはなりません。
委員	北九州市も環境問題にかなり取り組んでおります。それに対して大学がどこまでやるのかと言うことでしょう。早稲田大学が(北九州市に)きているのもその関係ですものね。
委員	環境は北九州市が先進と言うことになっております。その中で北九大はトップを走っていると言うくらいの意気込みを見せなくてはならないと思うのですが。

事務局	北九大の方には改めて委員の皆様のご意向と仰うことでお伝えしておきます。仮にそう仰うものが今無かつたとして、この年度計画の評価をする中でいくつかの項目に関連する項目があるとすれば、そのへんをヒアリングの中であるいは特記事項としてこれからはこう仰うことをやっってくださいと仰う評価委員会として評価すると言うのもひとつだと思います。
委員	そうですね。それも考え方ですね。場合によるとヒアリングをしている中でそういう問題がでてくる可能性があります。だから、それは今後の要望的なもので出してもいいわけですからね。多少そう仰うことも考えていかなくてもはならないと言う気はします。
委員	中期計画の進捗状況を4段階で評価しますが、年度計画に入っていない項目の場合、やらないことが計画論と仰うことになって3か4になるのですけれども。
事務局	可能性としては年度計画に入っていない項目をいわゆる前倒しで実施していることが自己点検の評価の中で上がってくる可能性はあるとは思いますが、一応原則は年度評価で評価しますと北九大に仰っておりますが、その場合は3になるのか、年度計画を上まわって実施しているという事になるのかよくわかりませんが。
委員	最終的に分野別の5段階評価の所で3または4の割合が9割以上とかそう仰う形で計算しますから、その時に分母に実施していないものを入れて、あるいは入れないで計算するのかわ変わります。
委員	国立大は9割なのですか、調べてみてください。
委員	個別の評価をやった上で、全体としてどのへんまでかと言う調整にラインをもってくることは可能だと思います。
事務局	国立大は9割です。
委員	先ほどの環境などに関する内容が中期計画に盛り込まれているのかどうかのチェックをする必要があるかと思うのですが、資料1の12ページ(7)の内容を拡大解釈すれば該当するようにも思えるのですがいかがでしょう。中期計画うたっていないことを我々が主張するのはちょっと気がひけるのです

	が。
事務局	これに関しては、中期計画項目162番があるのですが、これが「景観や環境への配慮、女子学生向けの施設整備等良好なキャンパス環境の整備」という言い方をしています。この中で読み込めると思います。
委員	そうされるのが無理が無くていいですね。
委員長	ここでは資料4の評価指針、資料5の評価実施要領、資料6の業務の実績に関する報告書(様式案)でいこうと思います。これを大学の方には是非お伝え願います。当年度はこう言う形でやりますけれども、実際にやった上でまた次年度以降は計画も評価も修正すべきところは修正していけばと思います。どうぞ宜しくお願いします。
委員長	(3)その他 それでは議題3と言うことで次回の予定等について事務局の方宜しく願います。
事務局	次回の予定は中期計画と年度計画の各細目ごとに評価のポイント、また添付資料についてご確認をお願いしたいと思います。また、評価様式や評価計画等の方もご審議をちょうだいしたいと思います。大学の方からも遅くなりましたけれども18年度の年度計画について説明をちょうだいしたいと思います。次回の日程については6月9日ないし12日で調整をさせていただきたいと思っております。皆様方お忙しいとは思いますが、6月の役員会の前でありますので、できましたら9日が大変ありがたいと思っております。
委員長	皆様いかがでしょうか。 《中島委員以外、了承》
委員長	6月9日の金曜日ということで。
委員	時間は。
事務局	今回の時間くらいでお願いできればと思っております。

委員 長	<p>それでは6月9日の金曜日15時からと言うことでよろしいでしょうか。</p> <p>《各委員了承》</p>
委員 長	<p>いよいよ具体的なものに入っていきますので、中島先生のご都合のつく時にうまく折り合いがつけばと思いますので、先生ご面倒でもどうぞ宜しくお願いします。大まかにいうと6月9日に1回ありますね。その次はどのへんになりますか。6月末か7月初めか。</p>
事 務 局	<p>できましたら、6月20日から30日の間で考えたいと思っております。</p> <p>《各委員了承》</p>
委員 長	<p>それでは今日の委員会は終わらせていただきたいと思います。どうもいろいろとありがとうございました。</p> <p>委員会終了</p>